

リハビリ通信

コミュニケーション支援はチームで取り組もう！

今回は、入所の言語聴覚療法（以下、ST）部門の最近の取り組みを紹介します。

入所 ST 部門の業務は大きく分けて、「コミュニケーション（以下、C o m.）」と「食べること」の 2 点について、医師の指示のもとに支援しています。

利用者への C o m. 支援の中で、拡大・代替 C o m.（以下、A A C：様々な技術やツールを用いて C o m. の困難さを補う支援で、詳細はリハ通信 V o l. 2 を参照）の使用ができるように練習します。A A C の利用は、利用者へのアプローチに加え利用者を支援する家族やスタッフ全員が A A C について理解し共に実施することが重要です。



A A C への理解を深めるために、7 月にアクセシビリティ（あらゆる人が利用しやすい状態）の概念や A A C の操作方法を知る場を設けました。センター職員全体に開催周知したところ、リハビリテーション科職員にとどまらず、医師や看護師、支援員、ソーシャルワーカー、事務職員など多数の職員が参加してくれました。参加した職員からは「興味を持った」「あの利用者は使用できるだろうか」など、A A C に前向きな声が聞かれました。C o m. 支援を個別指導から日常生活に汎化させられるよう、多職種と情報共有しながら連携を深めていきたいと思います。



（リハビリテーション科 言語聴覚士 石上）